

2019年度「あかるく さわやかに ひびきあう」旭ヶ丘小の教育活動

～ 保護者力・地域力・学校力の結集 ～



教育目標 学び合う子・なかよく助け合う子・明るく元気な子

教師力を強化します！

「わかる・楽しい授業」「質の高い指導」

- ◆「めあて・まとめ・振り返り」を位置づけた授業づくりを進めます。
- ◆主体的・対話的な深い学びの授業を展開します。
- ◆意欲的に学び基礎・基本を確実に身に付けた児童を育成するため、算数科の授業づくりを全職員で研究し公開研究会を実施します。
- ◆2020年度から始まる5.6年の外国語、3.4年の外国語活動、**プログラミング教育**を先行的に行います。

大人みんなで健やかに育みます！

健やかな体の育成と安全・安心な教育環境

- ◆保護者、地域と協力した安全指導により、事故被害0をめざします。
- ◆自然災害や不審者対応の4回目の保護者への児童引き渡し訓練は、メールなどの連絡後に実際に来校いただいて実施します。
- ◆短縄・長縄やランニング、竹馬などの活動を通して、児童の体力づくりを進めます。

連携を深めます！

保護者、地域、桜蘭中学校区連携

- ◆地域の方も対象にした参観日を実施します。
- ◆桜蘭中、八丁平小、知利別小、**幼保**との連携・交流を深めます。
 - ・小中を貫く学習ルールや学習環境づくりに努めます。(桜蘭中学校区スタンダードの取組)
 - ・「スマホ・携帯の3か条」の徹底を進めます。
- ◆保護者アンケートを実施します。
 - ・「旭ヶ丘小の教育活動」の内容が十分に行われていたかについて2学期末にお聞きします。
- ◆知利別小との統合に向けた計画を推進し、**情報を公開**します。
- ◆先人に感謝し心に残る開校10周年式典を行います。

< 児童に育む4つの力 >
自分も人も大切に
自分の考えを表現する
いろいろな人と関わる
前向きにチャレンジする

< 目指す学校像 >

すべての子が「期待の登校、満足の下校(成就感と達成感)
すべての子のために開かれた共育の場(保護者、地域との連携)
すべての子の安心できる居場所 (児童理解、深い絆)

きめ細かに学習指導を行います！

基礎的・基本的な内容の定着と進んで学ぶ態度の育成

- ◆指導方法の工夫
 - ・T・Tや習熟度に応じた指導をします。
 - ・放課後スクールや長期休業中の補充学習を充実させます。
 - ・チャレンジテストや各種学力調査などの結果を分析し、一人一人の学習内容の定着状況について把握します。
- ◆担任の指導の下、朝学習「ベーシックタイム」を着実に実施します。
- ◆学習規律の定着に向けた指導を進めます。〈授業の心構え5か条〉
 - ・授業準備、机上整理、発表の仕方・聞き方の徹底
 - ・「べったん・びん・ぐう・さあ」を合言葉に、正しい姿勢の徹底
- ◆家庭との連携の工夫
 - ・「家庭学習の手引き」について家庭との共通理解を図りながら、**内容の充実**と学習習慣の定着を図ります。

子どもの心を耕します！

豊かな心を育み自ら考え行動する子に

- ◆「特別な教科道徳」の授業
 - ・考え・議論する授業の参観日公開、地域の人材を活用した授業など、教科となった道徳の授業を進めます。
- ◆道徳の授業や体験活動、異学年交流、地域とのふれあいなどの活動を通して、児童相互が認め合い学び合い分かり合う学校・学級づくりを進めます。
- ◆児童に寄り添い、細かな児童理解を行い、いじめや不登校のない学校を目指します。
 - ・教育相談週間を設け、全児童対象に担任との面談を実施し、日頃考えていることや悩みごとを把握し児童理解を深めます。
 - ・明るくさわやかな挨拶、人間的なふれあい、信頼関係を基盤とした生徒指導を心がけます。
 - ・全保護者を対象とした個人懇談会を実施し、家庭と連携しながら深い児童理解を図ります。
- ◆保護者や地域と連携し読書活動の整備を進めます。

個のニーズに応じた指導と支援を

- ◆児童一人一人の特性を把握し、**合理的な配慮**のもと適切な支援や指導を進めます。
 - ・関係機関と連携し、保護者からの相談に随時対応します。ぜひお声がけください。
 - ・社会とのつながりを重視した個別の指導計画を作成し、**個に応じた指導を実施**します。
 - ・通常学級と特別支援学級との効果的な交流学習や共同学習を進めます。

特別支援教育を推進します！

○教育活動の充実、よりよい学校づくりを目指して、『あかるく さわやかに ひびきあう』2019年度旭ヶ丘小学校の教育活動、保護者力・地域力・学校力の結集、を作成いたしました。
○児童を取巻く教職員、保護者、地域の大人が一体となつて、「チーム旭ヶ丘」として共育を推進していきたいと考えています。